



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方のみお送りしています

第 72 号(2013 年 6 月 11 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

梅雨入りしたとはいえ、いいお天気が続いていましたが、今週末あたりからそろそろまた雨になりそうですね。

目次

- 在学生の活躍から～ケント大学留学体験記～
- 法学部からのお知らせ

-
- 在学生の活躍から～ケント大学留学体験記

こんにちは。岡山大学法学部 3 回生の長尾有香と申します。私は、岡山大学法学部がイギリスのケント大学と結んでいる学部間協定の第 2 期交換留学生として、1 年間イギリスで国際関係学を学びました。岡山で生まれ岡山で育ち、一人暮らしすらししたことのない私が初めて経験した海外はとても刺激的で、自ら考えることの必要性を示してくれました。

ケント大学のキャンパスがあるカンタベリーは、イングランド南東部に位置する、長い歴史を持った町です。イギリス国教会の総本山であるカンタベリー大聖堂やローマの支配を受けていた時代の遺構などがあり、イギリスの歴史や習慣を日常の中で感じることができます。また、緑にあふれた広大なキャンパスを持つケント大学は、様々な国からの留学生を受け入れており、イギリス人だけではない多くの国の学生と出会うことができました。

私はキャンパス内にある学生寮で、スペイン、ドイツ、ブラジル、シンガポールから来た学生と一緒に生活していました。ハウスメイトの友達が来た時には、みんなで自国の料理を作ってもてなしましたし、ハウスメイトの誕生日はみんなで祝いました。お互いの持つ習慣の違いから衝突したこともありましたが、その度に話し合っ乗り越えました。同じキッチンに立ち、自分の国の料理を作りながら、それぞれが思い描く将来について話したことはよい思い出です。授業で課された課題に疲れていた時や、イギリスでの生活がうまくいかず落ち込んでいた時に、励まし支えてくれた彼らには本当に感謝しています。

そして、日本の外で学ぶことで、自らで見えて深く考えることの大切さに気づかされました。たとえば、授業の内容が理解できないときには進んで質問し、セミナーの場では自発的に自分の意見を述べて論を戦わせるなど、ヨーロッパの学生の積極的な姿勢は私に足りないものの一つだと感じました。暗記すること自体を目的とし、それで満足してしまうのではなく、学んだことに対して自分はどうか考えるのかということまで踏み込む必要があるのだと痛感しました。

カンタベリーでの生活は日本での慣れ親しんだ生活とは全く違いました。当然と思っていたことが通用しなかったり、思いもかけぬ出来事があったりと驚きの連続でしたが、その経験は自分の視野を広げるきっかけになりました。このような素晴らしい機会をくださり本当にありがとうございます。イギリスでの経験を糧に、また岡山大学でしっかりと学んでいきたいと思えます。

法学部 3 回生 長尾有香

ケント大学交換留学生プログラムの申し込みについてはこちらをご覧ください

募集情報

http://www.law.okayama-u.ac.jp/renkei/international_exchange/kent/kent_2014.pdf

申込書

http://www.law.okayama-u.ac.jp/renkei/international_exchange/kent/application_form_2014.doc

○ 法学部からのお知らせ

☆岡山大学法学会総会・講演会

日時：6月27日(木) 14:30～

場所：文法経学部講義棟 26 番教室

講師：竹下義樹氏（弁護士）

演題：「弁護士を生きる」

前号の法学部だよりで開始時間を 16:15 とお知らせしましたが、ただしくは 14:30（4 限）です。

お詫びして訂正いたします。

-
- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。